

ブッシュ再選後の日米関係をどう作るか

参加者／大谷信盛 衆議院議員
上川陽子 衆議院議員
長島昭久 衆議院議員

林 芳正 参議院議員
吉崎達彦 (株)双日総合研究所副所長



ブッシュ再選をどう見るか

吉崎 米大統領選挙はブッシュ勝利という結果になりました。本日は、アメリカで政治活動を体験された国会議員四人に「米大統領選挙の結果と今後の日米関係」というテーマで話し合っていたらどう思いますか。

林 それはブッシュでしょう。アメリカ人だったらどちらを支持したでしょうか、アメリカ人だったら。

長島 アメリカ人だったら、今回はケリーです。大谷 立場上、ケリーです。吉崎 立場上ですか(笑)。

上川 ケリー。吉崎 じゃ、ここでは一対三でケリーが当選しているわけですが、選挙結果について、皆さん、どの

さらにブッシュが先鋭化する可能性もある。プレレキをかけたいなという意味でケリー氏という選択です。

大谷 なぜケリーか。私がアメリカ人になり切れなからなのではないかと、もしほんとうにアメリカ人だったら感情的にブッシュだったかも知れません。しかし、アメリカ人だったとしても、ブッシュでは政策的に見て危険じゃないかと、選挙人獲得状況を見ると、ホワイトカラーが多い地域と言ったら語弊があるのかもしれないけれども、そういう部分はケリーさんになっている。同じような感覚で僕も危険なものを感じて、この場合はブッシュさんじゃないところに入れておくという投票行動に自分は動いたのではないかなと思います。

アメリカの選挙、日本の選挙

吉崎 今回は前回と同様、また選挙制度でいろいろもめたりしていますね。実際、皆さん、日本で選挙をやっておられる。大谷さんなんかはアメリカの選挙の現場も知っている。そういう二つの選挙の形を見ていて、どんなことを思われますか。

大谷 僕は、これは民主党が勝った選挙だったと思います。

吉崎 どうやらつらつら勝っていますか。大谷 それは候補者の一言です。チャレンジャー側は、予備選挙で勝った候補は本選挙で勝てないと言われます。本選挙で勝った候補は予備選挙で勝てない。リベラル色の強いケリーさんだから予備選挙を制覇できるけれども、リベラル色が強過ぎて本選挙では票を逃がしてしまう。そこを何がカバーするかと言うと、政策を通じた個人売り、キャラクター

ように受けとめられていますか。

林 私はケリー選出の民主党大会に行きました。いろいろな人と話していて感じたのは、ケリーがすごくいいというよりも、とにかくブッシュを代えるところまでまじまじといたということですね。実際自分の目でケリーを党大会で見て、もう一つカリスマのものが感じられなかった。

それから、私がアメリカ人だったらということにこだわるのは、やはり9・11です。こういうときには一緒に頑張ろうという方を選択するだろうと。

長島 今の林さんのお話は、ブッシュの勝因を見事に言いあわしていると思います。

僕は今回アメリカに行きバイデン上院議員と話しましたが、彼も「今のイラク情勢を安定化させる。日本ももっと貢献しろ」とはっきり言っていました。そういう意味では、ケリーになってもそんなに大きく政策は変わらない。しかし、ブッシュでかなり傷ついたアメリカの威信、リーダーシップを取り返していくにはケリーさんに証すしかない。あまりアトラクティブな候補では確かにならないかもしれないが、上川 確かにブッシュのほうがスター性、カリスマ性が非常にあって、今度のテロの問題に対しては意思決定がはつきりしています。そういうことは

裸りです。

ケリーさんの場合、政界用語で言えば一枚上を抜けた。カリスマ不足という一言かな。クリントンがブッシュのバトに勝ったときと同じようなアンチ現職ブラスのこの人という風が吹いて、ダブルエンジンで当選できた選挙だったと思います。

長島 僕も、クリントン級の人物が出ていたらと思います。そのクリントンが選挙戦の最後に病み上がりでケリーの応援に入った。十キロ近くやせて大分ふけたなと思いましたが、ケリーがやはり食われていました。

それからアメリカ社会が相当保守化している点も見逃せない。今回、大統領選挙だけではなくて上院も下院も共和党が取りましたね。マジにも広げましたね。民主党のダシネル院内総務もたき落とされた。同性婚の禁止を求める住民投票も十一州でかなり差がついて可決している。そういうキングクリップジ以来の保守革命みたいなものがある。

もちろん、キリスト教右派などがかなり原動力になっていると思いますけれども、南部を中心に草の根保守が相当浸透してきている。だから、よほどの候補が出てこない、民主党がこれをひっくり返すのはなかなか難しいという気がします。

林 選挙制度の問題だけ言くと、日本と比べるとアメリカは圧倒的に劣っています。日本は、要するに戸籍、住民票がきちつとしていますから、アメリカのような問題は起こり得ない。

長島 暫定投票制度であり得ない。日本では立会人がいて、例えてみれば「林義郎」と書いた名前を「芳正」に入れるとかものすごいわけです。土票単位でやっている。そういうインフラというのは非常にしっかりしていますが、逆に



よしとぎ、たつひこ。一九六〇年生まれ。一橋大学社会学部卒業。八四年に日商岩井入社。米國アルプキングス研究所客員研究員。経済同友会調査役などを経て、二〇〇二年より現職。個人サイト「溜池通信」(http://amekane)を運営中。著書に「アメリカの論理」など。東京財団「日本の総合的安全保障のあり方に関する研究会」リporter。

9・11の心理からすると非常になじみやすい。だけれども、イラクの現実を見てみると死傷者も大勢多いし、ほとんどネガティブな事実が明らかになっていく。イラクから帰国した多くの人たちの声には、大義の部分できちつと自分たちの生命が役に立っているのか疑問が生じてきているようなムードがある。だから、国内的には強いアメリカを象徴するようなリーダーシップを大統領に期待している反面、国際的に見て、ブッシュのやり方への反発や非常に落胆している心理も働いたと思います。

今のアメリカの置かれている状況からすると、政策的にはブッシュでもケリーでもそれほど変わりはなく、確かにケリー氏にはカリスマ性はない。だからといって、その先、ブッシュ氏を選ぶとすれば、さらにブッシュの政策が先鋭化して出てくることが懸念される。今回の選挙では非常に拮抗した投票結果が出ているので少しバランスがとれるような政策の転換があるかもしれない。しかし、選挙直前にビルディングからあいうメッセージが出てくると、